

信用 金庫

Monthly

6 2009 June

毎月1回10日発行／昭和26年10月24日第三種郵便物認可
平成21年6月10日発行／第63巻第6号 ISSN 1343-5280



CONTENTS

- 〈シリーズ〉 地域社会の持続的発展に向けて⑩ * 清野真里恵
私の経営理念・経営方針 * 山口泰男（川口）
【緊急投稿】世界金融危機と信用金庫 * 濱田康行
協同組織金融機関－明日への視点 国内篇⑫ * 鈴木真人
『2009年版 中小企業白書』の概要とポイント * 吉田敬一
シリーズ「地域活性化しんきん運動」推進事例⑩ * 但陽
好きです商店街！① モトスミ・ブレーメン通り商店街
信用金庫の経営におけるリレーションシップランキング推進の効果 * 家森信善
第28回信用金庫PRコンクールの審査を終えて * 込山俊朗
平成21年度事業計画 * しんきん保証基金／しんきん情報システムセンター

この街と生きていく。



主婦感覚「もったいない」で始まった ～モノもヒトも生かそう 地域の資源



特定非営利活動法人 RE 機構 理事長

清野 真里恵

せい の ま り え

RE 機構の「RE」は 3 R = Reduce・Reuse・Recycle' 由来します。私どもは、この言葉が今ほど一般的でなかった 15 年ほど前から乾電池のリサイクル商品化を進め、加工作業を障がいのある方々に委託するなどの事業を行ってきました。2004 年 1 月からは特定非営利活動法人として「リユース・リデュース・リサイクルと障がい者の仕事づくりのお手伝い」をモットーに活動し続けています。私どもの取り組みをご紹介することで、みなさんの地域に埋もれている「もったいない」を発掘し、障がい者との協働をはじめ、地域福祉へ関わる可能性を見出していくだけたらと思います。

■1 「もったいない」は 今や世界の共通言語

「もったいない・勿体無い」（広辞苑より）①神仏・貴人などに対して不都合である。不届きである。②過分のことでの畏れ多い。かたじけない。ありがたい。③そのものの値打ちが生かされず無駄になるのが惜しい。

ます。日本古来の民族信仰である神道では、散る桜の花びらや、吐息の一つひとつにまで生命が宿るとされ、森羅万象に慈しみや感謝の気持ちをもつて接していました。その心情が「もったいない」という価値観の根底には流れています。

本来は、「不都合である」「かたじけない」などの意味で使用されていたものが、現在では、一般的に「物の価値を十分に生かしきれず無駄になつてゐる」状態や、そのような状態にしてしまふ行為を戒める意味で使用されています。

この言葉に感銘を受けた方が、ケニア出身の女性、環境保護活動家のワンガ

**ワンガリ・マータイさんの
『MOTTAINAI』**
(MOTTAINAI Homeより)

環境3R+Respect = もったいない

Reduce（ゴミ削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再資源化）という環境活動の3Rをたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対するRespect（尊敬の念）が込められている言葉、「もったいない」

リ・マータイさんでした。

祖国の貧困や環境破壊に心を痛め、1977年に「グリーンベルト運動」という植林活動を始め、政府の弾圧を受けながらも地道な運動を続けてこられました。これまでに延べ10万人が参加し、植えた苗木は4千万本に上るということです。環境分野で初のノーベル平和賞を受賞されたマータイさんは、2005年に京都議定書関連行事のため来日。その際、「もったいない」という日本語に出会つて、この言葉に込められた心情と価値觀に深く感銘を受け、環境を守る世界共通の言語として、この美しい日本語「MOTTAINAI」を広めることを提唱し

ました。

こうしてスタートした「MOTTAINAIキヤンペーン」が、地球環境に負担をかけないライフスタイルを広め、持続可能な循環型社会の構築をめざす世界的な活動として展開されているのは、ご承知のとおりです。

■2 「もったいない」は、日本人のDNAに刻まれている

私が「リサイクル乾電池」（以下、「R乾電池」）の事業を始めたそもそものきっかけは、実はこの「もったいない」という主婦感覚でした。

15年ほど前、一零細企業として関わつたある仕事がきっかけで、使いきりカメラ（レンズ付きフィルム）に内蔵されているアルカリ乾電池が、現像所でカメラごと回収された後、産業廃棄物として大量に処分されていることを知りました。

この内蔵乾電池は、フラッシュ使用時にしか消費されず、なかにはまったくの未使用状態で回収されるものもあります。月間350万本（当時）ものまだまだ使える乾電池がゴミとして処分されて

いる状況を知ったとき、まさに思ったのです。「もったいない！」と。

この捨てられている乾電池をなんとかできないものか。そこから商品化を考えたのが始まりでした。当時は、まだ3R（リデュース・リユース・リサイクル）の考え方も一般的ではなかったので、「リサイクル」という言葉を商品名として使用しました。

これまでに乾電池の連続放電実験や水中放置実験等を行い、新たにわかつたこともあります。

例えば、乾電池を埋設廃棄した場合、雨や地下水による影響を受けることを想定しての水中放置実験の結果、残量がわずかでも残っている乾電池は、水中で短絡現象（ショート）を起こし、内部の電解液が徐々に浸出してきます。電解液は強アルカリ性（pH10以上）で、動植物に有害です。また、このとき水素を大量に発生しますので、発火・爆発の危険性もあるのです。

乾電池は、使い切つてから処分しないと深刻な環境破壊を引き起こすのです。「もったいない」から始めた「R乾電池」事業は、まさに、地球環境に優しい「M

■3 ■ 障がいのある方たちと共に リサイクルを

私が「もつたいない」と感じたように、多くの日本人の心には、この価値観が自然と根づいているように感じています。古来より受け継がれている日本人の心、「もつたない」の精神をこれから大切にしていきたいものです。

「OTTAINAI運動」の先駆けだったのです。ですから私たちは、「R乾電池」の販促と同時に、「乾電池は使い切つてから処分しましょう!」と、訴え続けています。

【知つて得する乾電池の豆知識】

- ゲーム機などで使用して動かなくなった乾電池でも、各種リモコンや時計などには、まだまだ十分使用できます。乾電池は、最後まで使い切つてから各自治体の処理方に従って処分してください。
- 1本の乾電池を作るのに、約12ワットの電力を必要とします。使い切らずに100万本の乾電池を捨てたとしたら、1つの原子力発電所が作る1時間分の電力を捨てたのと同じことになります。
- 限りある資源を大切に! 「もつたいない」は地球を救うのです。

「R乾電池」は、残量95%以上のものだけを選別し、各地の障がい者施設や作業所へ輸送し、1本1本、キズ、サビ、液漏れなどの有無を検品、消毒したうえで手作業で袋詰めし、商品化しています。この「R乾電池」のパック詰め作業は、障がい者施設や作業所の収入、障がい者の工賃（給料）アップにつながっています。

障がいのある方たちにとって、工賃を得ることはもちろんですが、それ以上に重要なことがあります。それは、「R乾電池」の仕事が、資源の有効利用や地球環境を守ることにつながる重要なものであり、社会貢献の一つとなっていること。この仕事に携わることで、社会の一員であるという自覚と自信を持つことができ、働く喜びや意義を感じることができることです。これは、障がいの有無にかかわらず、人は誰しも求めていることですが。



横浜G30乾電池

いります。個展を開くほどの書道家もいれば、企業の広告をデザインする絵画のアーティスト集団、定期演奏会をしているミュージシャンやミュージカル公演をする人たち。また、パソコンに精通している人もいます。さまざまな能力・個性を持つ彼・彼女たちの特性の一つに、「一つのことに熱中して長時間こなす」ということがあげられます。

ここでも、私の「もつたいない」のアシテナが震えました。「R乾電池」の仕事をぜひやっていただきこうと結びついたのです。時間はかかりますが、一度覚えてしまった、彼・彼女たちの仕事ぶりは